

# 鹿児島県内の公立図書館活動状況

平成30年11月、鹿児島県図書館協会は平成29年度における鹿児島県内の公立図書館の利用状況等について発表しました。これによりますと、出水市立図書館は6.42冊で県内市立図書館内では最多の貸出冊数となりました。町立図書館も含めると第4位でした。主な利用状況は次のとおりです。この数値は、住民一人が1年間に図書館の本を借出利用した数です。「読書活動日本一のまちづくり」を進める出水市民の読書熱が数値となって輝きました。市民の皆様のご利用に心から感謝申し上げます。

## 〇市立図書館のベスト5

出水市・・・6.42冊  
南九州市・・・6.27冊  
志布志市・・・5.83冊  
阿久根市・・・5.44冊  
始良市・・・4.99冊

## 〇市町立図書館のベスト5

湧水町・・・11.52冊  
徳之島町・・・7.38冊  
龍郷町・・・6.95冊  
出水市・・・6.42冊  
南九州市・・・6.27冊

## 〇全市町村の平均値

3.56冊

## 〇18市の平均値

3.89冊

## 便利な図書館の横顔！



出番を待つ新刊



ぬいぐるみおとまり会



図書館の中だけじゃありません。野田中での仕事ブックトーク。



本で見守り隊



知識の習得は「ノーペイン、ノーゲイン（痛みなくして得るものなし）」です。苦勞して得た情報はその人の宝。生涯の友。知り得た知識をまとめて1冊の本にまとめるのは表現力を養う絶好の機会です。将来の表現力を小学生の時代に鍛えます。～図書館を使った調べる学習コンクール～。図書館ならではの機会です。



だっこでギュッ



タイムスリップ読み聞かせ

2019年4月



# 図書館だより

春増刊号

編集・発行  
出水市立図書館・出水市歴史民俗資料館指定管理者  
（株）図書館流通センター

## 新転任の教職員の皆さま、「読書活動日本一のまちづくり」出水市へようこそ

「ゆくさ おじゃした」。これは歓迎の意を表す出水の方言です。（出水郷土誌下巻）

出水市には、公立図書館が3館、歴史民俗資料館が3館あります。当館では図書館法に規定されていますように、土地の事情及び一般公衆の希望に沿い、図書館奉仕を行っています。皆様を支援できる施設でありたいと思っています。両施設のヘビーユーザーとして「読書活動日本一のまちづくり」にあなたもご参加ください。

☆施設の利用案内は別添のとおりです。

## あなたの日常に 読書タイムを



図書館への団体見学

読書活動日本一のまちづくり



夜のおはなし会



夏休み図書館探検



YA図書館クラブ



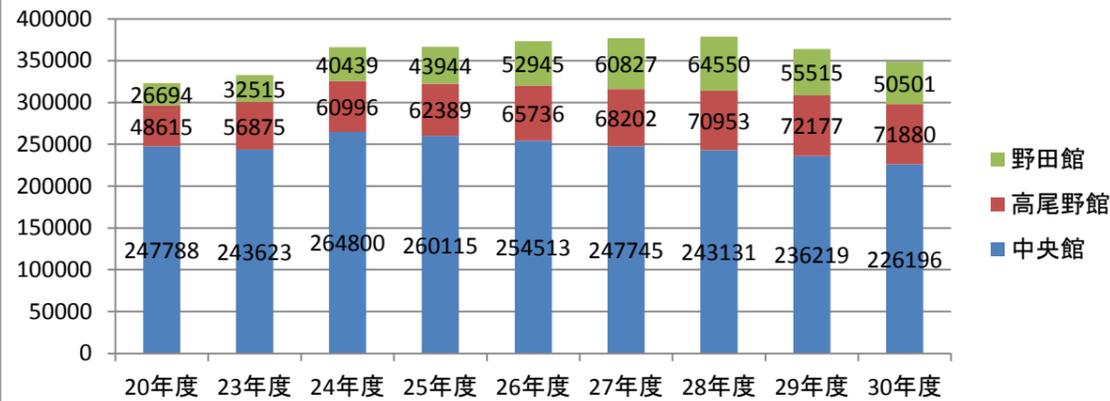
図書館を使った調べる学習作品発表会



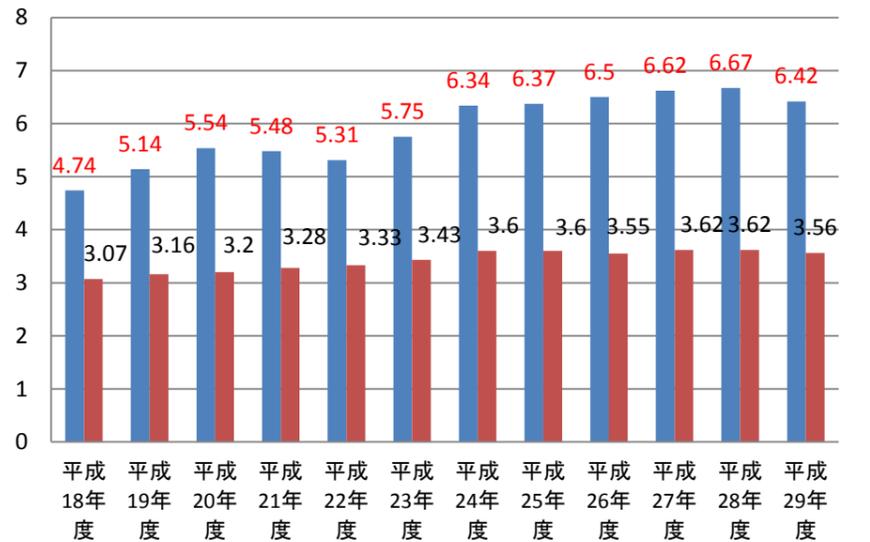
追悼コーナー

## 利用状況

### 貸出冊数の推移 単位:冊



### 住民一人あたり貸出冊数(単位:冊)



### 利用者別・年度別貸出利用冊数(単位:冊)



## 『出水文化』の紹介

『出水文化』は昭和41年(1966)5月、第1号が発刊されました。発行人は「出水文化の会」で、会員は出水市民を中心に最盛期には1千人を超えました。発刊は平成8年(1996)5月の第77号まで30年間続きました。どちらも、歴史・民俗・考古学・宗教・教育・スポーツ・芸能芸術などが掲載されており、文字どおり出水地域の文化総合誌です。同誌の果たした役割は大きく、当時の出水の文化活動に多大な貢献が為されただけでなく、後世の出水市民にとっても歴史文化を語る上で貴重な郷土資料となっています。同誌を読めば、歴史的事実が確かめられるだけでなく、往時の市民の人生観をひしひしと知る事ができます。自由で何ものも恐れないその精神は、現代や未来を生きる市民にとって大いなる勇気をもたらしてくれるようです。さらに、見逃せないのが味わい深い装丁です。出水の特性をモチーフにしたスケッチ画が見事です。当時を駆け抜けた先輩諸氏の感性が文字にも増して感じさせてくれます。出水市立中央図書館には「特化コーナー」に創刊号から77号まで複本とパスファインダーを含めて置いています。昭和40年代から平成にかけての市井の文化活動を知る上でなくてはならない貴重書です。閲覧、貸出のご利用をおすすめします。

### 主なカテゴリー ( )書き数字は号数です。

|                   |                            |                          |
|-------------------|----------------------------|--------------------------|
| 出水小学校の百年を語る(2)    | 座談会 黒の瀬戸大橋を語る(29)          | 音楽に憑かれて五十年(69)           |
| 椋鳩十氏を囲んで(3)       | 出水市の田ノ神考(36)               | 「出水七高」を記念する(69)          |
| 学校めぐり座談会 米ノ津小(3)  | 七高造士跡館記念碑建立始末記(38)         | 郷土軍団の足あと(69~)            |
| 腰矢・組弓について(3)      | 座談会 出水総合開発の水利事業完工にあたって(39) | 西之口「観音像」について(69)         |
| 上場の黒耀石文化(3)       | 座談会 出水養鶏農協の生い立ち(39)        | おきおんさあ(69)               |
| 学校めぐり座談会 野田小(4)   | 座談会 井上吉夫-宮路道雄対談(40)        | 航空隊の兵士たちと共に(69)          |
| 学校めぐり座談会 高尾野小(5)  | 出水市制変遷資料(40~)              | 語り継ぎたく(69)               |
| 出水ロケ記 ああ同期の桜(5)   | 学校めぐり座談会 下水流小(45)          | あの日と その前その後(69)          |
| 人間「ショキチ物語」(5)     | 稲畑汀子先生をお迎えして(45)           | 米ノ津ヤンギー(69)              |
| 学校めぐり座談会 大川内小(6)  | 出水平野の開発(46)                | 座談会 あん頃ははずんだが(70)        |
| 学校めぐり座談会 荘小(7)    | 湯川内崩えの背景(47)               | 井島六助先生を偲んで(70)           |
| 出水七高特集編(8)        | 池水先生を偲ぶ(48)                | ふるさとも戦場だった(71)           |
| 学校めぐり座談会 脇本小(9)   | 西照寺釣鐘堂屋地開地突唄(48)           | 宮路道雄さんを偲ぶ(71)            |
| 甲子園大会出場を顧みて(11)   | 出水の不知火(52)                 | ふるさとの太平洋戦争(73)           |
| 琴平神社座談会(11)       | つわものどもがゆめのあと(55)           | 読書週間に当たって(73)            |
| 葉たばことともに六十年(11~)  | 中国残留孤児対談(56)               | 出水商店街今昔咄(74)             |
| 座談会 高川部落ダム底へ(12)  | 座談会 「歴史民俗資料館」の開設を語る(61)    | 出水麓町と祇園神社(74)            |
| 泉大八氏を囲んで(13)      | 「出水地名研究会」紹介(61)            | 薩摩路の頼山陽(74)              |
| 座談会 格からの手渡し和紙(14) | 九州方言の旅 出水語と九州弁と(64)        | 尊氏・貞久・雲山(感応寺古文書より)(74)   |
| 旧出水町の農地改革(16)     | 出水の鶴の標識調査と中国調査団(64)        | 高尾野の町と祭りの今昔(75)          |
| 出水の電気今昔物語(16)     | 機関車乗務員あれこれ(66)             | も一つの戊辰戦役(76)             |
| マダム座談会(17)        | 出水の鶴の旅立ちと繁殖地飛来飛去コース(66)    | 薩摩精神の源流とその発展(76)         |
| 再び「わらび座」を囲みて(18)  | 特集・水俣病を考える(66)             | 座談会 ショ吉ドンはオイじゃ(76)       |
| シダを語る(21)         | ツルー陣の渡来から出水での越冬生活~(67)     | 座談会 恵比須さんがぜんぶ知っとらつとを(77) |
| 小野田少尉捜索行(29)      | 仲間で作る 若者達の文化活動(69)         |                          |



出水市立図書館は知の宝庫です